

令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月4日～11月11日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
長崎支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

皆さんと共に、修了式を迎えることができ、とても嬉しく思います。約6ヶ月という長期間の中、多くのカリキュラムの受講は大変であったと思います。通信レポート、修了評価試験等は、高得点の方も多く、皆さんが、真摯に取り組まれた結果であると、敬意を表します。特に、実技では苦勞をされたことと思います。また、これを機会に、大いに自信をもって頂きたいと思います。

入講時は、久しぶりの集中した勉強であり、初めての人同士との関わりあいもあり、さらに、介護という未知の分野を学ぶことに、不安と期待が交錯していましたが、徐々に打ち解けられました。苦樂を共にした素晴らしい仲間達との出会いは、皆さんにとってかけがえのない財産になると確信しております。

介護の現場では、利用者さまの「自立と尊厳」を護りつつ、周りの人に感謝し感謝される介護の職業人となるよう、努力を続けてください。

ご自身の心身を大切に、日々活躍されることを祈念いたします。

長崎支部職員一同

講習風景①

開講式



期待と不安が入りまじるなか
開講日を迎えました。

講義



介護の基本、医学の基礎知識等
毎日真剣に学びました。



生活支援技術



ベッド、階段昇降のほか、衣服着脱・
食事・排泄の介助等、たくさんの介護
技術を学びました。

講習風景②

医療的ケア 演習



喀痰吸引、経管栄養の演習です。
一生懸命手順を覚えました。

レクリエーション技術



福祉レクリエーションの目的や意義を
学びました。演習はにぎやかな時間と
なりました。



グループワーク



実際の介護事業所を例に、介護現場の
改善点等を話し合い、発表しました。

講習風景③

介護過程Ⅲ 実技



科学的根拠に基づいた介護を実践するための知識や技術を学びました。

就職面接会



事業所の採用担当者から、業務内容の説明を受け、模擬面接を実施しました。



施設見学



実際の介護事業所を見学し、介護職員として働くイメージが明確になりました。

講習風景④

修了生講話



昨年度の修了者より、介護労働講習や就職後の仕事内容について、お話を伺いました。

事業主講話



介護事業所の方より、採用側が期待する人材、介護職としての心構え等をお話して頂きました。



介護の仕事で嬉しいこと

- ・ご利用者を笑顔にできた時
- ・ご利用者やご家族から感謝された時
- ・ご利用者のできることが増えた時

介護現場の実際



③事業内容

医療
医療・介護・福祉の
トータルサポート
介護 福祉



グループホームのキーワード

- ・認知症
- ・ふたごのケア
- ・高齢化社会
- ・地域内連携
- ・自立支援
- ・高齢者の人口増加

12ヶ所の介護事業所より、事業内容や介護サービスの説明をして頂きました。就職に向けて貴重な時間となりました。

講習を終えて

今年は8名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

初めてのことばかりでとても大変でしたが、無事就職が決まって良かったです。毎日新しい事を習って予習・復習をしました。
徐々に集中して勉強したにもかかわらず、なかなか覚えられず苦労したことも、今となっては思い出です。
くじけそうになった時も仲間に助けられやってこれたと思います。

以前から介護職に興味があったので、ポスターを見て説明会を受けたのがきっかけでした。
分厚いテキストに不安を感じましたが、思い切って申し込んで良かったと思います。
やっとスタートラインに立ったところなので、ここでの授業を思い出しながら頑張っていこうと思います。

全く無知の状態からのスタートで最初は不安でいっぱいでしたが、講師の方々が、何度もわかりやすく丁寧に指導してくださいました。
少しずつ「私にもできるかも」という自信に繋がっていったと感じています。

親切、丁寧に教えて頂き、身についたと思います。
この学びを大切に、最後は介護の仕事をやった良かったと思いたいです。

介護の現場で働く上で、基本的な知識、技術を学ぶことができました。
身内の介護でも活かす事ができると思います。

講師の方々が、不安なことやわからない点を、親身になって聞いてくださいました。現場実習では利用者様と触れ合い、実際の現場を知ることもできました。
現場に出たら大変なことばかりだと思いますが、こちらで日々学び努力したことを糧として、一生懸命頑張ろうと思います。有難うございました。



就職先を訪ねて



松井 ひじりさん

令和5年度修了者



介護労働講習で学んだことは？

介護職員として必要な知識や技術を学び、相手を否定しない、まずは受け入れるなどの考え方から、衣服の着脱やオムツ交換などの技術も習得しました。特に生活支援技術の演習で学んだことは、そのまま仕事へ活かされています。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

自分は料理作りが好きなこともあり、利用者様と一対一で接する訪問介護の仕事が合っていると思います。利用者様と慣れ過ぎないようにしていますが、自分との会話で相手が笑顔になったり、リラックスしている様子を見るととても嬉しく、やりがいを感じます。

講習内容などについての感想は？

最初は不安でしたが、講義や演習で介護を幅広く学ぶうちに、徐々に自信がついていきました。特に認知症の方への考え方や対応の仕方は、非常に勉強になりました。介護職員として働く心構えができ、実際の現場でもとても役に立っています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護は未経験のため大変ではありましたが、一緒に頑張る仲間と支え合い、充実した講習となりました。介護の基本や技術を学び、知識を得た上で現場に出たことは、日々業務にあたる中で、とても良かったと実感しています。就職先では相談にのってくれる先輩もいますので、受講を検討されている方、大丈夫です！なんとかなりますよ！





就職先を訪ねて



事業主さまから一言

社会福祉法人 長崎厚生福祉団
魚の町ヘルパーステーション
主任サービス提供責任者 井手口 裕子さん

普段の仕事ぶりはいかがですか？

最初の面接で、「子どもが独立したので、今度は自分のために働きたい」と話してくださった松井さん。そのような人生の大切な節目に介護の仕事を、そして魚の町ヘルパーステーションを選んでくださり、ありがとうございます。

松井さんに出会えたことは、事業所にとって大きな幸運だと思っています。

ヘルパーを始めてすぐの頃は、戸惑うこともあったようですが、お一人おひとりと丁寧にコミュニケーションをとることで、満足度の高いサービスを提供できるようになっています。そのなかでも調理業務は、ご利用者様の好みに合わせつつ、新しい味付けに挑戦するなど研究熱心で、松井さんの訪問を心待ちにされている方も。

松井さんは「長く働くことが目標」とも話してくださりました。ご自身のことを大切にさせていただくとともに、自分のペースで楽しみながら、訪問介護の仕事を続けていただけると私たちも嬉しいです。

これから受講される方へメッセージをお願いします

訪問介護の仕事は、喜びとやりがいにあふれています。そしてご利用者様の生き方や言葉は、自分の人生の役に立つときが必ず来ます。ヘルパーに定年はありません。お若い方から年長者の方まで活躍できるお仕事です。みなさんのことをお待ちしております。

少しでも興味があれば、お気軽にお問合せください。

